

2024年11月開催ウェビナー 3社限定 2024年8月7日(水)申込〆切

DIAMOND  
BUSINESS FORUM  
ウェビナー企画のご案内

イノベーションを起こす組織に不可欠な  
デジタル人材活用 (仮題)

▼対象業種・サービス

デジタル人材の採用・育成、デジタル分野の外部人材活用を支援するサービス、コンサルテーション

ダイヤモンド社 ステイア局 ソリューション営業部

著作者：freepik

## 企画趣旨

デジタル人材の不足が叫ばれて久しく、需給ギャップは今後も拡大していくと予想されます。IT産業の成長はもちろん、あらゆる企業でDX(デジタル・トランスフォーメーション)が進み、さらにはシステム開発・運用の内製化に取り組む企業も増え、デジタル人材への需要は爆発的に高まっています。AI人材の争奪戦もいままさに過熱しています。

しかし、デジタル人材の確保には様々な課題が立ちはだかっています。社員として雇用を行うには、人材不足に加え、特定のスキル・経験を備える人材は給与水準も高いため、雇用ハードルが高く、優秀な人材ほど離職の可能性も高まります。

社内でのデジタル人材育成も必要不可欠となりました。全社を挙げた研修プログラムの実施や、ノーコード開発ツールの導入による非IT社員のDX人材化に取り組む企業も増えています。一方で、人材育成には時間がかかるため、プロジェクト毎の外部人材の派遣や、フリーランスエンジニアのマッチングも注目を浴びています。

このように複数の選択肢がある中で、短期・長期の視点を持ち、自社の事業やプロジェクトに合致したデジタル人材を、複合的に確保・活用することが重要です。

同時に、担当部門のリーダーにとどまらないマネジメント層が、デジタル人材への理解と関わりを深めること、そして、現場の従業員のデジタルマインドセットを育て、日頃の業務で活用できるシステムとプロセスを整備していくことを忘れてはなりません。

そこで、ダイヤモンド・ビジネスフォーラムでは、「イノベーションを起こす組織に不可欠なデジタル人材活用(仮)」と題したWEBセミナーを11月上旬に開催いたします。本イベントでは、経営企画・事業開発、デジタル、人事部門の意思決定層に向け、経営戦略と人材戦略の連動を見直し、デジタル人材の育成と確保のために必要な戦略を探る手がかりを提供します。

貴社のサービスやソリューションの優位性をPRいただく絶好の機会となりますので、ご協賛のご検討をお願い申し上げます。

# 実施概要／イベントプログラム

## ■実施概要

- 日 程 : 2024年11月上旬予定  
主 催 : ダイヤモンド社 メディア局  
協 賛 : 上限3社(※協賛社様枠はお申し込み順です) **2社様以上の協賛で実施確定となります**  
対象業種 : デジタル人材の採用・育成、デジタル分野の外部人材派遣を支援するサービス、コンサルティング  
配信方法 : 事前収録による疑似ライブ配信(配信プラットフォームはv-cubeを予定)※視聴者ログの提供可  
配信時間 : 約2時間半想定  
登録人数 : 300名想定 ※当日の視聴数を保証するものではありません  
受講料金 : 無料  
参加対象 : 役職...経営者、役員、部長などの意思決定層、リーダー層を中心に集客  
部門...経営全般、経営企画、デジタル、人事部門など

## ■イベントプログラム(案)

|                   |            |
|-------------------|------------|
| 13:30~14:10 (40分) | 基調講演       |
| 14:10~14:40 (30分) | 協賛社様 1枠目   |
| 14:40~15:10 (30分) | 協賛社様 2枠目   |
| 15:10~15:40 (30分) | 協賛社様 3枠目   |
| 15:40~16:00 (20分) | 閉会・アンケート記入 |

## 料金／実施内容／オプション

WEBセミナー実施料金 **3,000,000円** (税抜)

お申込〆切 2024/8/7(水)  
※ 2社様以上の協賛で実施確定となります

### □内容

・プレゼンテーションパート(30分間)※視聴者への資料配布可(任意ダウンロード方式)

・申込者リスト(プロフィール)情報の提供: **300件**想定

氏名、企業名、業種、職種、部署名、役職、従業員数、メールアドレス、電話番号

・実施報告書

申込者の各種情報をレポートニング

### □オプション

・ダイヤモンド・オンライン上での貴社パート採録レポート掲載(1万PV保証)

**2,000,000円(税抜)**

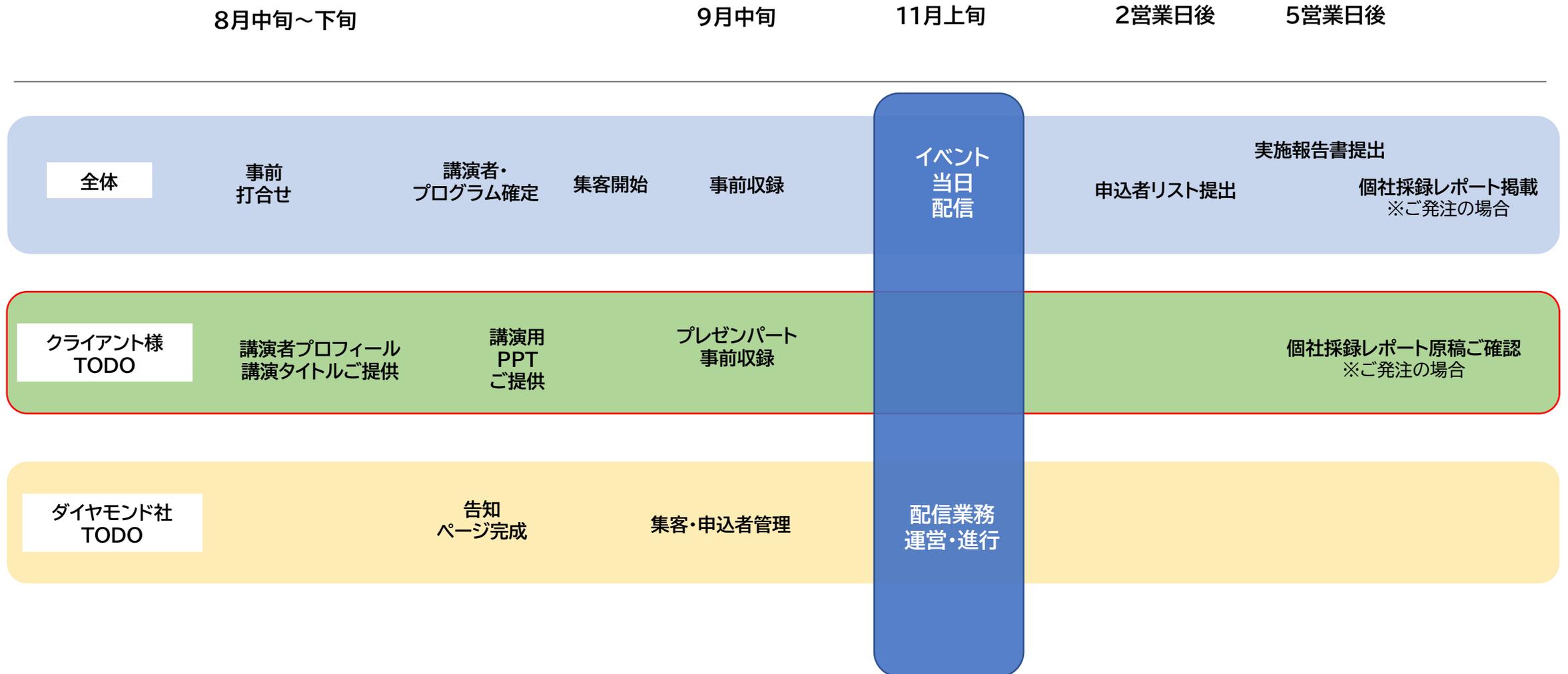
・プレゼンテーションパートの動画ご提供

**500,000円(ネット・税抜)**

<データお渡しに関して>

データ:MP4ファイル 注意事項:編集後の配信データお渡しとなります。(編集不可) 出典元表記をお願いしております。「この動画は2024年〇月〇日に開催されたDIAMOND BUSINESS FORUM〇〇〇で配信されたものです。」使用範囲:貴社オウンドメディア、イベントでの上映、プレゼンテーション資料内での再生に限ります。他メディアでの掲載はお控え頂いております。

# 実施の流れ



# DIAMOND BUSINESS FORUM開催実績

## ■DIAMONDビジネス フォーラム「テクノロジーの進化と学習する組織」(2022年6月8日開催)

|        |  |
|--------|--|
| 名称     | テクノロジーの進化と学習する組織                                 |
| 主催企画   | ダイヤモンド社 ビジネスメディア局<br>ヴァーティカルメディア編集部              |
| 協賛     | アビームコンサルティング<br>NTTデータ<br>ベネッセコーポレーション<br>KAKEAI |
| 日時     | 2022年6月8日(水) 13:00-17:30                         |
| 視聴     | オンライン  |
| 受講料    | 無料(事前登録制/抽選)                                     |
| 事前登録者数 | 457名   |

|                          |   |
|--------------------------|---|
| 13:00~<br>14:00<br>(60分) | ◆基調講演<br>「テクノロジーの進化と学習する組織」(前編)<br><br>『学習する組織』著者/MIT経営大学院上級講師<br>SoL(組織学習協会)創設者<br>ピーター・センゲ氏 |
| 14:00~<br>14:30<br>(30分) | ◆協賛講演<br>「変革期における人材マネジメント」<br><br>アビームコンサルティング<br>代表取締役社長<br>鴨居 達哉氏                           |

|                          |   |
|--------------------------|---|
| 14:30~<br>15:00<br>(30分) | ◆協賛講演「デジタル変革と学習する組織」<br><br>NTTデータ<br>代表取締役副社長 執行役員<br>山口 重樹氏   |
| 15:00~<br>15:30<br>(30分) | ◆協賛講演「学び続ける組織に必要な学習戦略<br>~個人と事業の成長をつなぐ人材育成とは~」<br><br>ベネッセコーポレーション<br>社会人教育事業部 部長 (Udemy事業責任者)<br>飯田 智紀氏                                      |
| 15:30~<br>16:00<br>(30分) | ◆協賛講演「上司部下コミュニケーションの質改善の<br>具体的アプローチ」<br><br>KAKEAI<br>代表取締役社長 兼 CEO<br>本田 英貴氏  |
| 16:00~<br>16:30<br>(30分) | ◆基調講演<br>「テクノロジーの進化と学習する組織」(後編)<br><br>『学習する組織』著者/MIT経営大学院上級講師<br>SoL(組織学習協会)創設者<br>ピーター・センゲ氏   |
| 16:30~<br>17:15<br>(45分) | ◆特別鼎談<br>「『学習する組織』を実践する」<br><br>システム思考教育家<br>福谷 彰鴻氏<br><br>チェンジ・エージェント代表<br>小田 理一郎氏<br><br>「スタンフォード・ソーシャルイノベーション・レビュー 日本版」<br>共同発起人<br>井上 英之氏 |
| 17:15~<br>17:30<br>(15分) | ◆アンケート記入・閉会   |

経営戦略  
テクノロジーの進化と  
学習する組織  
— オンラインイベント —  
定員250名  
2022年6月8日(水)13:00-17:30

### 「『学習する組織』を実践する」

システム思考教育家  
福谷 彰鴻氏



米国でMBA取得後、欧州系ヘルスケア企業等を経て、ボストンのSoL(組織学習協会)にて、ピーター・センゲ氏の各種ワークショップの運営をサポート。10年以上にわたってセンゲに直接、師事し、継続的なメンタリングを受けている。帰国後は日本の教育分野における「学習する組織」及び「システム思考」のツールや考え方の導入に従事。国立大学、中学高校での講義やワークショップ、教職員向け講座を多数開催し、さまざまな学習するコミュニティづくりを推進している。

チェンジ・エージェント代表  
『学習する組織』共訳者  
小田 理一郎氏



オレゴン大学経営学修士(MBA)修了。米国企業で10年間、製品責任者・経営企画室長として、組織横断での業務改革・組織変革に取り組む。2005年チェンジ・エージェント社を設立。日本において、「システム思考」や「学習する組織」など、変化のための方法論の普及・実践の推進に務める。サステナビリティ、社会課題解決分野における、能力開発とプロセスデザインに関連するサービスを提供する。共にピーター・センゲ著『学習する組織』、著書に『学習する組織』入門(共に英治出版)など多数。

「スタンフォード・ソーシャルイノベーション・レビュー 日本版」  
共同発起人  
井上 英之氏



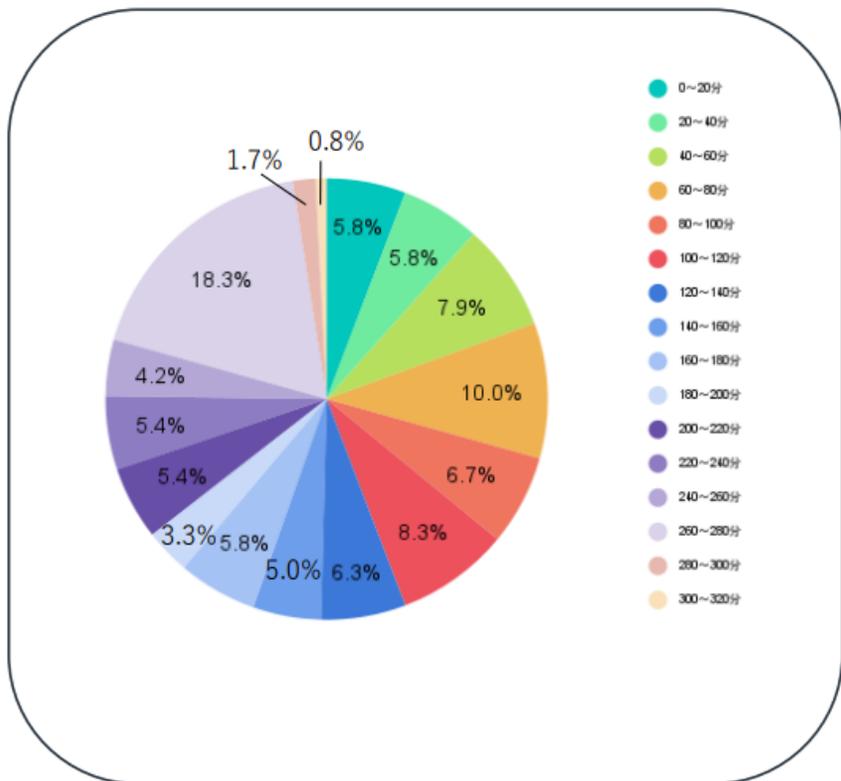
慶應義塾大学卒業後、ジョージワシントン大学大学院に進学。外資系コンサルティング会社を経て、NPO法人ETICに参画。若い社会起業家の育成・輩出に取り組む。2003年、社会起業向け投資団体「ソーシャルベンチャー・パートナーズ東京」を設立。2005年より、慶應義塾大学SFCにて、社会起業に関わる実務と理論を合わせた授業群を開発。2009年、世界経済フォーラム「Young Global Leader」に選出。近年は、マインドフルネスとソーシャルイノベーションを組み合わせたリーダーシップ開発に取り組む。「スタンフォード・ソーシャルイノベーション・レビュー 日本版」共同発起人。

# DIAMOND BUSINESS FORUM開催実績

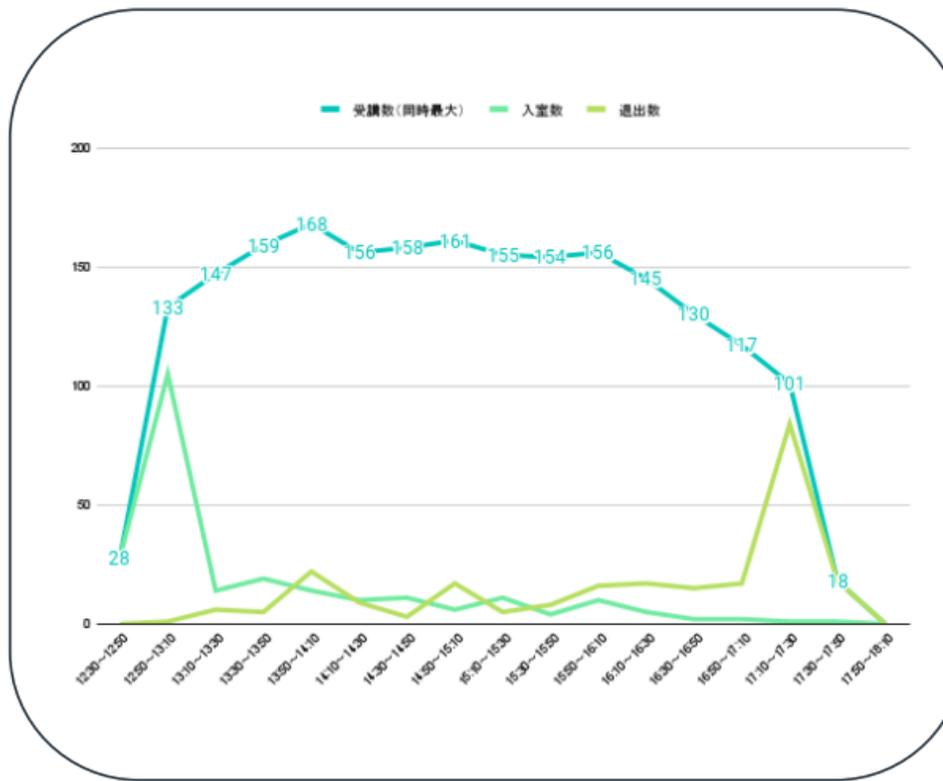
## ■DIAMONDビジネス フォーラム「テクノロジーの進化と学習する組織」（2022年6月8日開催）

|                                   |     |
|-----------------------------------|-----|
| 申込者数（獲得リード数）                      | 457 |
| 出席者数（視聴ユーザー数）<br>※視聴URLより重複を除いて算出 | 243 |
| 欠席者数                              | 214 |

【受講時間の割合】



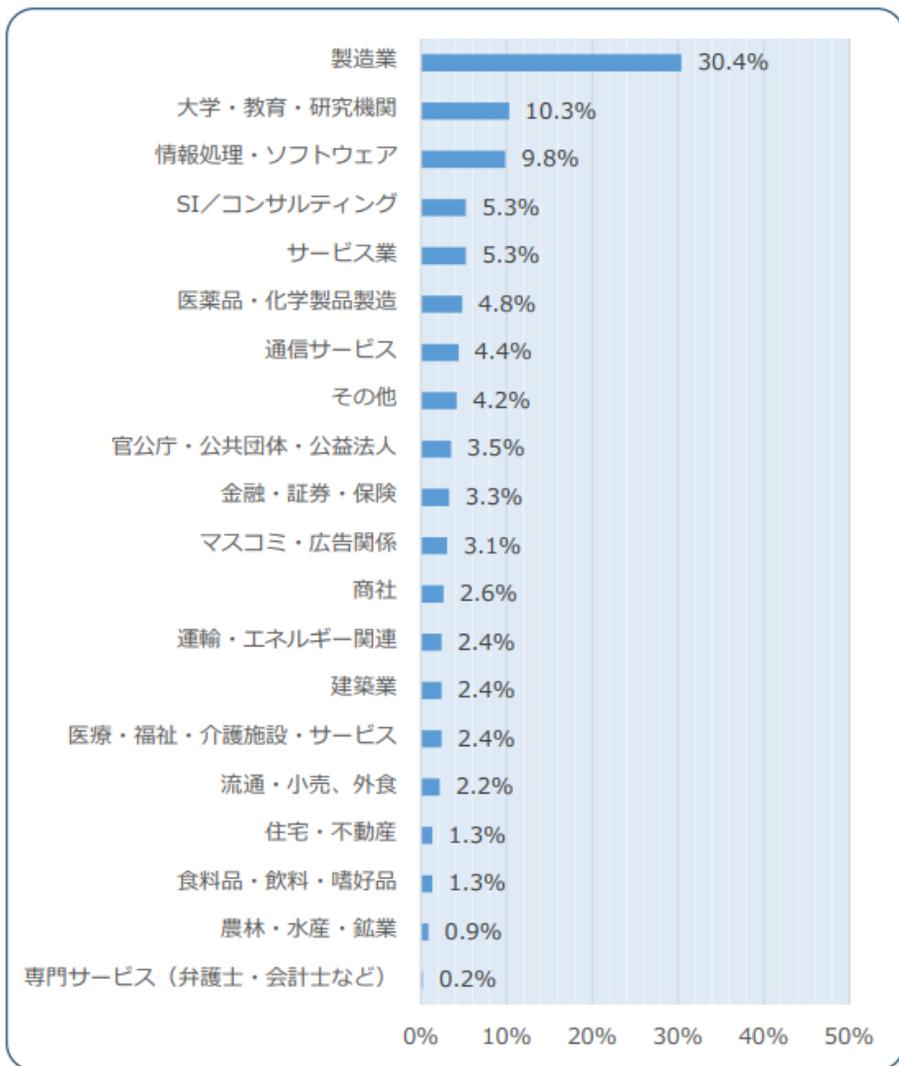
【入退室者数の遷移】



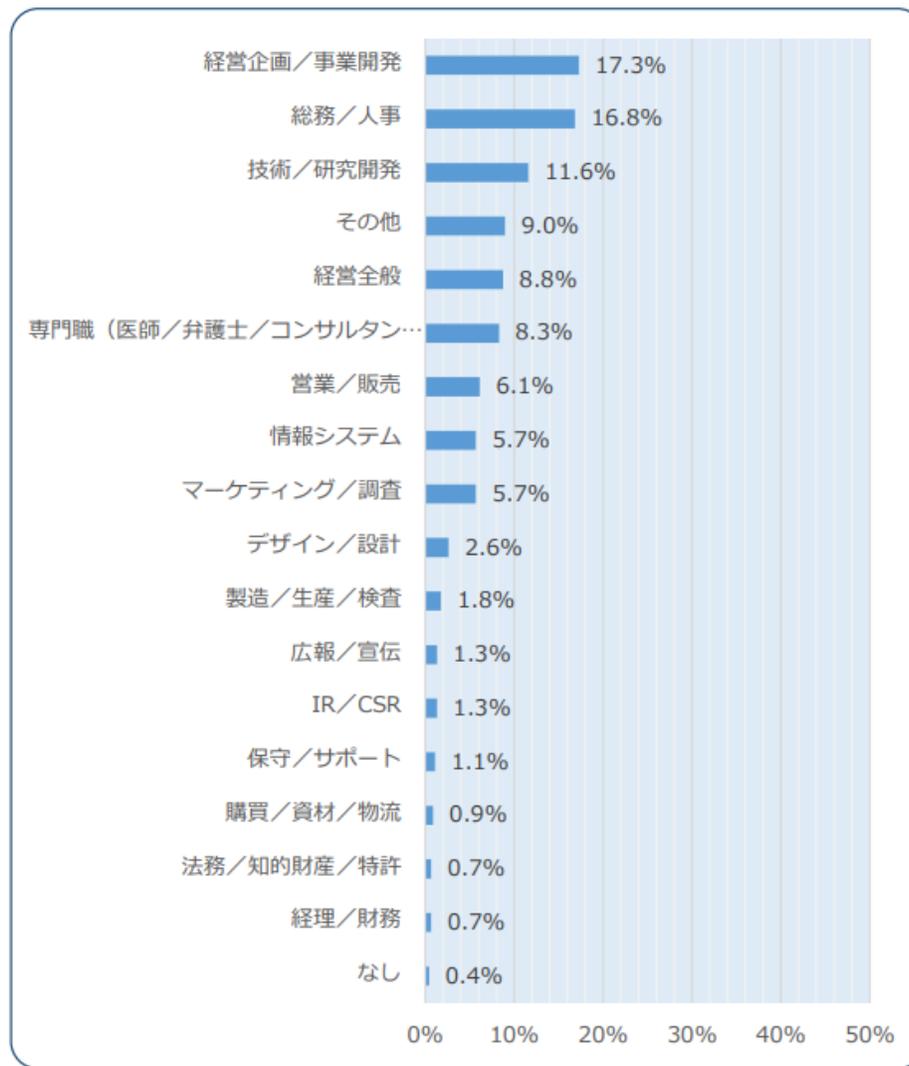
# DIAMOND BUSINESS FORUM開催実績

## ■DIAMONDビジネス フォーラム「テクノロジーの進化と学習する組織」（2022年6月8日開催）

【業種】



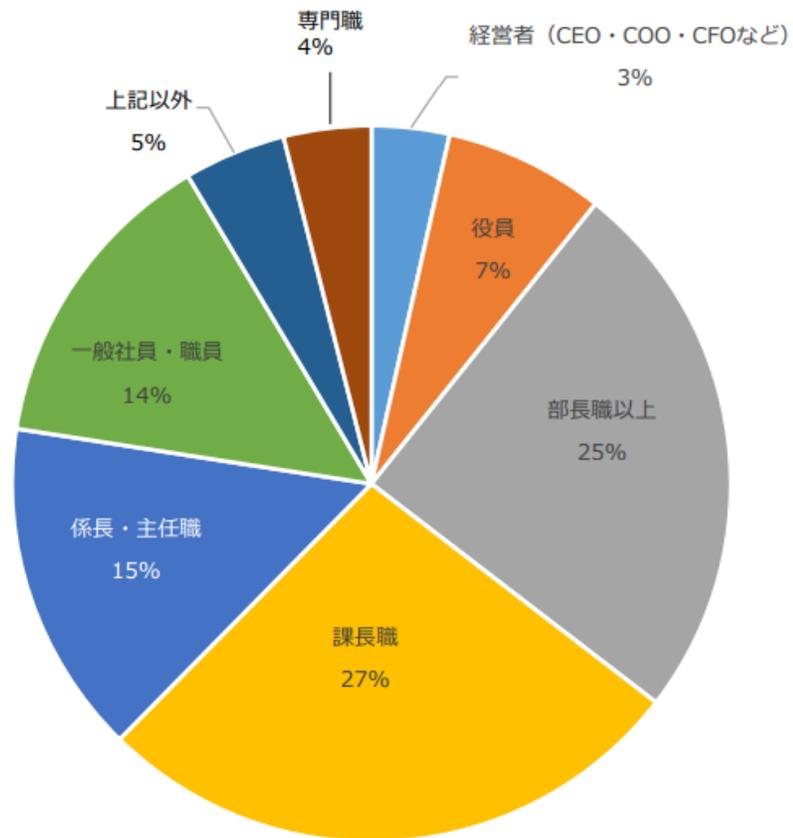
【職種】



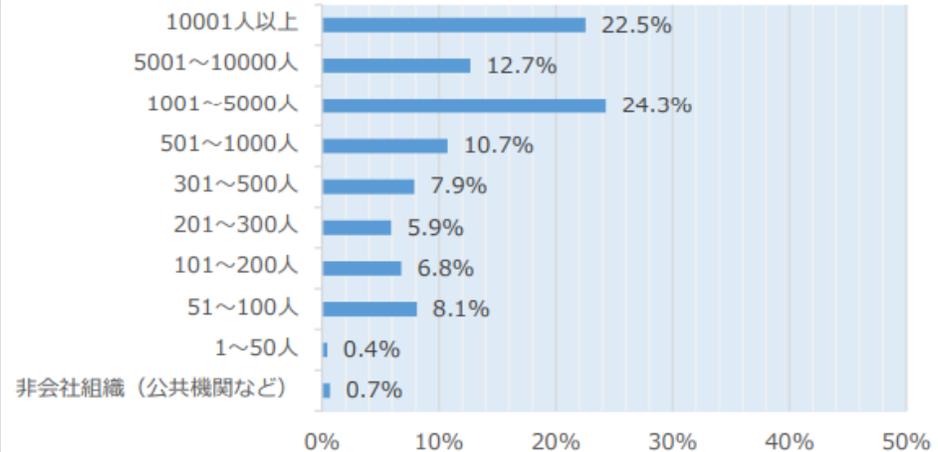
# DIAMOND BUSINESS FORUM開催実績

## ■DIAMONDビジネス フォーラム「テクノロジーの進化と学習する組織」（2022年6月8日開催）

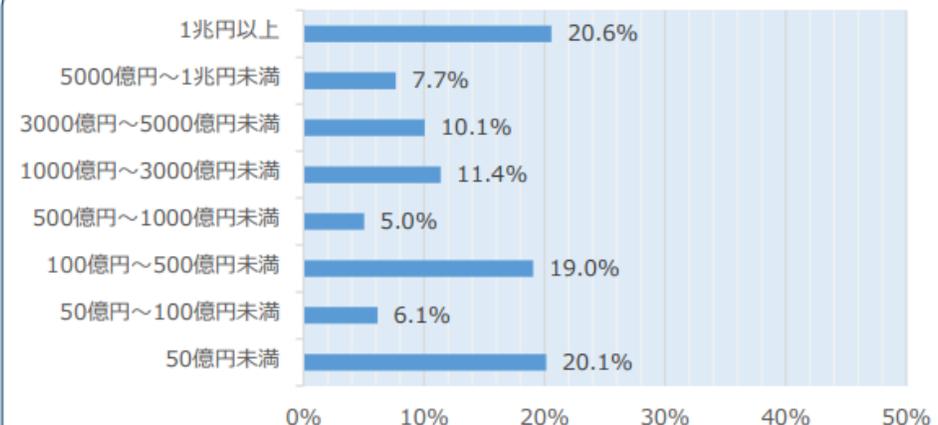
【役職】



【従業員数】



【売上規模】



## 留意事項

集客配信に関して

ご希望の属性のみを集客することは出来ません。

集客開始後の内容変更に関して

イベント集客開始後の協賛講演テーマ・登壇者等の変更は、必ず事前にご相談ください。

個人情報の取り扱い

協賛者がイベントを通じて取得した個人情報は、個人情報の保護に関する法律その他関連法令を遵守し、適切に取得し取扱うものとします。

協賛者のお申込みキャンセル・変更に関して

申込時点でのコンテンツに関する決定事項の内容変更はお受けできません。

申込後のキャンセルはお受けできません。

やむを得ず発生した場合も、理由の如何を問わず、協賛料金全額をお支払いいただきます。

コンテンツの権利

イベントにおける写真・ビデオ撮影等を許可する権利、その他映像に関する一切の権利は、主催者が有します。

コンテンツの提供については、事前にご相談ください。

別途、料金が発生することがございます。

# 免責事項

## □イベントの変更・中止

主催者は、次のいずれかに該当する場合、コンテンツの変更、イベントの短縮、開催延期または中止を決定します。

### 1. 不可抗力の発生によりイベントの開催が困難であると判断した場合

- ・天災地変
- ・戦争、内乱、暴動、テロ
- ・新型インフルエンザ等感染症及び新感染症の流行

※「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に定めるもの

- ・コンピュータ、通信回線等の事故等によるコンテンツ(動画・音声)の寸断、停止
- ・その他、やむを得ない理由により講師が登壇できない場合など

### 2. 政府、行政もしくは公的機関によるイベントの自粛要請、自粛検討、中止要請、中止検討等によりイベントの開催が適切でないと判断した場合

主催者の都合以外の理由によって、イベントの全部または一部を中止とした場合、主催者は協賛者に対し、一切の責任を負いません。協賛料金の返金はありません。